

入間基地における29年度概算要求に係る主要事業について

1. C-2の入間基地配備について

運用開始から40年以上経過している現行の輸送機C-1の減勢に対応するとともに、航空輸送能力を向上させるため、C-1の後継機として輸送機C-2の導入を進めています。

平成29年度概算要求においては、C-2×3機の取得にかかる経費（約685億円）を計上しており、3機のうちの1機を、平成32年度以降、入間基地に配備することとしました。



2. 次期電波情報収集機の入間基地配備について

我が国周辺における電波情報収集能力を向上させるため、現行の電波情報収集機YS-11EBの後継機として、次期電波情報収集機の開発を進めています。

次期電波情報収集機については、平成29年度末以降、入間基地で飛行試験を含む、搭載機器（次期機上電波測定装置）の試験評価を実施する予定です。

同試験評価が問題なく終了した場合、平成31年度以降に次期電波情報収集機を入間基地に配備することとしました。



3. C-2及び次期電波情報収集機の受け入れ施設等の整備について

平成29年度概算要求においては、C-2及び次期電波情報収集機の受け入れ施設の整備として、誘導路改修等に係る施設の調査経費（約1.6億円）を計上しています。

4. 航空保安管制群飛行管理隊の府中基地への移動等について

(1) 概要

平成29年度に、より効率的に航空保安管制業務を実施するため、入間基地に所在する航空保安管制群飛行管理隊を府中基地に移動する予定です。

また、より効率的に医学実験業務を実施するため、立川分屯基地に所在する航空医学実験隊(1・2部)※を入間基地に所在する航空医学実験隊(3・4部)と一体運用するため入間基地に移転する予定です。

更に、より効率的に航空安全管理業務を実施するため、立川分屯基地に所在する航空安全管理隊※を航空事故調査等の実施に適した入間基地に移動する予定です。

このため、入間基地においては、平成29年度概算要求に関連施設整備のための調査費を計上したところであり、その結果に基づき、今後、所要の施設整備を計画していく予定です。

※ 航空医学実験隊(1・2部)及び航空安全管理隊の入間基地への異動時期は、平成32年度以降を予定しておりますが、調査結果により変更することがあります。

(2) 概要図



5. 入間基地の人員の増減について

○ 平成28年度末定員 約4,220名

○ 平成29年度末定員 約4,200名
(約10名※減)

※端数を四捨五入しているため